

## 太子町教育委員会／令和6年1月定例会議事録

### 日時及び場所

- 日時 令和6年1月30日（火）  
開会時間：午前9時30分  
閉会時間：午前10時45分
- 場所 役場庁舎3階 第2会議室

### 会議に出席した者の職氏名

- 出席者  
教育長 中道教育長  
委員 上籾教育長職務代理者、明石委員、山崎委員、池田委員  
事務局 池田教育次長、武部教育総務課長兼学校給食センター所長、  
矢野教育総務課学務指導担当課長、内藤教育総務課主査
- 欠席者  
東條生涯学習課長、吉村教育総務課長補佐
- 傍聴者  
なし

### 議題

- 日程第1 会議録署名委員の指名
- 日程第2 教育長の報告
- 日程第3 諸般の報告（その他）

中道教育長

それでは、これより教育委員会1月定例会を開催します。

まず、【日程第1 会議録署名委員の指名】をいたします。本日の署名委員は、【明石委員】をお願いいたします。

続きまして、【日程第2 教育長の報告】について報告申し上げます。

中道教育長

まず、元日に発生した令和6年能登半島地震では、石川県を中心に甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた方へのお悔やみと、被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を願います。現地では、避難所から通学する小中学生、今も避難所となっている小中学校、集団避難している中学生、地元に残る中学生、非常時とはいえ、厳しい環境の中、困難を克服している子どもたちにエールを送りたいと思います。また、救援に全力で取り組まれている、地元自治体、自衛隊、消防、警察、医療スタッフなどの皆さんに心より敬意を表します。

大阪府は府内市町村と合同で、輪島市の避難所を支援しております。本町では、1月20日土曜日から7泊の日程で、職員2名が現地に行き、先日帰庁しました。

それでは、6点報告をいたします。

1点目は、教育長職務代理者の指名です。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により、令和6年1月1日付で、上籾教育委員を、教育長職務代理者に指名いたしましたのでよろしくお願い申し上げます。

2点目は、二上山元旦初登りです。元日の早朝より行われました。体育連盟による記念しゃもじの配付と抽選会があり、多くの人と、初日の出を拝むことができました。

3点目は、1月校長会の指示事項です。令和6年は、町として非認知能力で結び付けた幼小中一貫教育の3年目を迎えます。しっかりと軌道に乗せて、邁進する年となります。一つの頂に立てば、次の高みが見えてくる。教育委員会と学校園がともに、その山を見て、歩む道筋を考えたいと伝えました。また、3学期は、各学年のまとめの時期、学年として、学校として、総括を進めるように指示をしました。

4点目は、1月8日に開催しました二十歳を祝う会について、教育委員の皆さんご出席のもと、無事終えることができました。交流会も和やかな雰囲気の中で実施できました。ありがとうございました。

5点目でございます。1月12日金曜日、大阪府教育庁主催「令和5年度未来に向かう力（非認知能力）育成セミナー」で、本町に実践報告の機会をいただき、別紙のとおり幼小中一貫教育について、発表いたしました。その後、東京大学 遠藤利彦教授のご講演の中で、本町の取組みについて何度か触れていただきました。その後、1月15日月曜日には、京都市教育委員会、29日月曜日には兵庫県加西市議会の視察があり、非認知能力で結び付けた幼小中一貫教育の概要説明の後、町立幼稚園、小中学校を見

中道教育長 学していただきました。詳しくは、後程、学務指導担当課長から報告があります。

6点目、1月22日月曜日に太子町いじめ問題対策連絡協議会を実施しました。これは、いじめ防止対策推進法で規定されているもので、通常は年1回開催しています。富田林法務局、富田林警察署など関係各機関から代表の方に参加いただき、令和4年度のいじめの認知件数から、いじめ防止や早期発見について、それぞれの立場から議論をしていただきました。以上です。

中道教育長 ただ今の件につきまして、ご質問等ございますか。

中道教育長 無いようですので、続きまして、【日程第3 諸般の報告（その他）】について説明を求めます。  
それでは、まず教育総務課長。

教育総務課 私から2点報告をさせていただきます。

武部課長 まず、1点目です。令和6年度町立学校園 学級数・園児児童生徒数の推移の資料をご覧ください。令和6年1月1日現在の園児児童生徒数を左に記載しております。直近の12月に実施した悉皆調査等を基に、令和6年度の園児児童生徒数を右の欄に記載しております。町立幼稚園は同数となっておりますが、小中学校においては減となっております。グラフをご覧ください。町立学校園園児・児童・生徒数の推移を示しております。平成19年の1,700人をピークに減少しており、令和4年時点においては、1,000人を割り込む状況となっております。これを受けまして、今後の児童生徒数を含め、本町の学校園の在り方等についても先を見据えた検討を進めて参りたいと考えております。

2点目は、次回の定例会終了後に予定されております、「太子町総合教育会議」の開催についてです。開催通知をお配りさせていただいております。定例会終了後に引き続きということで長時間になりますが、不登校に関する案件を予定しております。日時については2月16日金曜日、午前10時30分からとなっておりますので、よろしく申し上げます。

以上でございます。

中道教育長 それでは引き続いて、学務指導担当課長お願いします。

教育総務課 私から、大阪府教育庁主催実践報告及び他府県からの視察の様子についてご報告いたします。

学務指導担当 1月12日金曜日、大阪府教育庁主催の「未来に向かう力 育成セミナー」において、本町の取組みについて実践報告いたしました。机上には、当日の実践報告の様子をお伝えする資料がございます。

教育総務課  
学務指導担当  
矢野課長

事後のアンケートにおいては、太子町の取組みについて

- ・他市町村が実施している事例を普段知る機会がないので、良い機会となった。
- ・太子町がこのような先に行く動きをしてくれていたのは知らなかった。太子町のように「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者とつながる力」、主語は子どもであること、大切だと思いました。
- ・太子町の取組みはとても興味を持ちました。コンパクトな町という共通点があり、参考にしたいと思いました。

など、本町の取組みに対し、勇気づけられるご意見を多くいただきました。なお、当日の実践報告の様子は、動画にて視聴可能でございます。2次元コードにアクセスしていただき、ぜひご覧ください。

続いて、他府県から幼小中一貫教育についての視察受け入れについて報告いたします。1月に入り、2市より視察の依頼がありました。まず、1月15日月曜日には、京都市教育委員会の担当者と、小中一貫教育を推進する中学校区の小学校及び中学校から教員がそれぞれ来町いたしました。また、29日月曜日には、兵庫県加西市議会より総務常任委員の8名が来町いたしました。両日とも町教委より幼小中一貫教育の取組みの経緯や町教委としての方向性の説明をした後、町立幼稚園、磯長小学校、山田小学校、町立中学校をそれぞれ見学していただきました。本町の幼小中一貫教育について、「非認知能力」をどのように教育活動に反映しているのか、取り組む上で難しいと感じたことなどの質問があり、本町の取組みに関心を持っていただきました。

町教委としましては、今も取組みについて途上ではありますが、他府県からも視線を送っていただけていることに励みを感じ、今後さらに意欲的に取り組んでいきたいと考えております。

また、本町としても先進的に取り組んでいる自治体等を参考にしながら、今後も「非認知能力」の取組みを一層進めていきたいと思っております。

以上で、報告を終わります。

中道教育長

それでは引き続き、先に報告を全てさせていただきますので、生涯学習課関係を池田教育次長からお願いします。

池田教育次長

本日、生涯学習課長が、緊急に文化庁から二子塚古墳の現地視察が入りまして、現在、対応中ということで欠席させていただいておりますので、私から報告させていただきます。

お手元の行事の報告資料をご覧ください。

まず、二十歳を祝う会について報告いたします。1月8日に式典を行い、町内対象者159名のうち、128名の参加をいただきました。男性63名、女性65名の出席で、参加率が73.6%ということで、例年並みの参加をいただきました。

池田教育次長

続きまして、PTA 連絡協議会講演会を1月20日、教育長の報告にもございしましたが、1月1日に二上山元旦初登りを行いました。今年は、例年より少し参加人数が少なかった印象です。

裏面、新春ジョギング大会について、1月21日に開催予定をしておりましたが、悪天候のため、金曜日段階で中止を決定しました。

その次、1月27日、青少年指導員会主催の新春ボーリング大会に小学生31名参加いただきました。

2月11日には、体育連盟主催のアイススケート教室を実施予定です。

次に、恒例事業になっております女子バスケットボールWリーグの公式戦観戦チケットを無料プレゼントします。これは、ENEOS サンフラワーズのご好意でチケットをいただいております、3月2日から2日間に渡って、堺市立大浜体育館で行われます。

次に、第26回スポーツ講習会を3月9日に万葉ホールで開催します。体操やストレッチをとおして、健康維持を図っていただくことを目的に講演と実践を兼ねた講習会になっておりまして、今年は、ヨガの要素を取り入れたストレッチ&トレーニングというテーマで、医療法人はあとふる、いわゆる島田病院のトレーナーの方に来ていただいて、講習会をしていただく予定です。

町立総合グラウンドについて、2月5日から22日まで、夜間照明の更新工事を行う予定をしています。そのため、この期間中、平日と夜間の使用ができなくなりますが、土日祝日については、工事が休みですので、午前8時から午後5時までは利用可能です。既に、利用者の皆様にはご案内をしています。

以上です。

中道教育長

以上、報告させていただきましたが、全体をとおして、何かご意見ご質問等ございませんか。

明石委員

来年度の幼稚園の入園者が増加しましたが、増加の要因はどのように考えられますか。

教育総務課  
武部課長

例えば、11月に開催されました地域フォーラムにおいて、町立幼稚園の魅力を発信させていただいたり、町立幼稚園から、色々なところで園のPRをさせていただいたりしているところが増加につながっている要因の1つかと考えております。

明石委員

広報にも、非認知能力に関わる幼少中連携等、住民向けのアピールも非常に行われていましたので、そういった兼ね合いもあるのかと思っていました。少子化もあり、幼稚園を取り巻く状況が厳しい中で、これだけの人数を確保したということは、非常に大きな成果を上げていると思っております。

明石委員

ます。

小学校の6年間で見ると、あまり変動がないように見えますが、その後、子どもの数が大幅に減ります。以前の会議では、幼稚園入園の対象者が73名とお聞きしたと思うのですが、現在の小学校の1学年の人数から考えると、かなり落ち込んでいると感じます。今年誕生した0歳児の数は把握しているのでしょうか。

教育総務課  
武部課長

今年の入園対象者と同じくらいの75、76人くらいだったと思います。

明石委員

小学校の1学年あたりの人数が90人台から70人台に減って、その70人台で今後も維持できれば良いと思います。大学へ行く、社会人になる、結婚する、というような機会に移動があることは避けられないと思うのですが、太子町へ入ってきてもらわないと子どもの数が大幅に減ることが予想されます。今後、太子町の若い世代の動きがどうなっていくのかということが気になっています。

教育総務課  
武部課長

現在、太子地区と春日地区で3ヶ所、分譲開発をしております。全体で、分譲で53区画ございます。また、直近で建築確認が出ているのは28戸ありますが、転入の手続きについてはまだ確認されていません。予測は難しいところではありますが、ファミリー層向けの住宅ではないかと考えていますので、若い世帯の方々の転入も見込めると考えております。

明石委員

そのような動きがあるというのは非常に心強いですね。ありがとうございます。

中道教育長

その他、何かご意見ございますでしょうか。

上簗委員

この同じ表の点線のグラフについて、1年～2年のことなので、ただの誤差かもしれないのですが、山田小学校が横ばい、磯長小学校が少し上がっていて、小学校計も若干人数が増えているのに、中学校で少なくなっているということは、中学校受験が多くなっているのでしょうか。その時点で引っ越しされる方が多いのでしょうか。

教育総務課  
学務指導担当  
矢野課長

中学校受験につきましては、毎年、全体における割合を出しておりますが、特に変動はございません。学年によって多い少ないがあるので、少ない学年の子どもたちが中学校に上がったときに、小学校の児童数は増えますけれども、中学校の生徒数は減るというような現象はございます。ある一定推移の誤差というよりは、出生数の上下の範囲なのではないかと考えられます。私学へ進学される方の割合は、概ね3%程度となっており、5%

教育総務課  
学務指導担当  
矢野課長

の時もあつたり、2%の時もあつたりします。大きな振れ幅ではないという認識です。

上籾委員

はい、ありがとうございます。

山崎委員

この表で言うと、今年の小学校6年生が111人、来年の中学校1年生が104人、同じ学年ですね。7人くらいとすると、先ほどおっしゃられていた3%よりもやや多いのでしょうか。

教育総務課  
学務指導担当  
矢野課長

大阪府立支援学校へ進学する方がいらっしゃったりすることもありますし、私学だけではなく、もちろん、中学校に進学するタイミングで他市へ転出するという方も含まれている年もあります。

中道教育長

あくまでも推定値ですので令和6年5月1日データはまた、お伝えしたいと思います。

上籾委員

この間の成人式に参加させていただいた時、明石委員と、この中の何人が太子町に戻って子育てをしようと思ってくれるんだろうかと話をしていました。他のところに住んだり、大学生の中には下宿で勉強している子もいたりすると思うのですが、改めて何か太子町の良さを感じてもらえるような二十歳を祝う会になったらいいなと思いました。

10年ほど前までは、お酒の持ち込み等の対策に、皆さん躍起になっていたと思うのですが、今年は式典が終わると、中学校の同じ部活で、同じ幼稚園、保育園で、といった集団で写真を撮っていて、すごくほのぼのとした式だったということを知って、そこで懐かしさを感じてまた帰ってきてくれたらいいなと思いました。

中道教育長

最近の成人式の様子で言えば、今年はどうでしたか。

池田教育次長

過去何十年と見てみると、学年によって色が違うと思います。賑やかな学年もあれば、大人しい学年もあり、今年は割と大人しい子どもたちだったのかと思います。お酒に関しては、1回容認してしまうと、翌年、さらに翌年へと波及してしまいます。ここで止めないといけないということで、数年前からかなり厳密に、お酒を持ち込んだら退出してもらい、最悪の場合は、一旦預かるというところまで対応してきました。数年かけてできたかなと思っておりまして、お酒の持ち込みについては、以前と比べればかなり落ち着きました。

山崎委員 お酒の持ち込みは、交流会ですか。

池田教育次長 交流会です。後輩が先輩に持ってくる、先輩が後輩にお祝いに持ってくる、本人が鞆に入れてきて、交流会で出すといったようなことがありました。今でもこっそり持ってくるケースもあるのですが、堂々と出してみんなでお酒を回し飲みするという状況であれば退出してもらおうよう対応しています。数年間、そのような形で対応を重ねてきました。

中道教育長 そのような関わりの結果としての今年の会だったのかもしれないですね。

中道教育長 他いかがですか。

明石委員 参考にお聞かせいただけたらと思うのですが、南河内の人口を見ますと、どこの市町村も減少傾向だと思うのですが、その中で共通して抱える課題も多いと思います。子ども、若者に関わる課題は深刻だと思います。まちづくりについて、南河内の他の市町村で人口を集めるため、特に若い世帯を呼び込むためにされている施策があれば、お聞きしたいです。

池田教育次長 どこの市町村も高齢者対策の方に手を追われているイメージが強いです。他市でもかつて新興住宅地と言われたエリアが、ほぼ、高齢化率が80%を超える町になって、その対応に追われているのが現実だと思います。また、郡部を中心に、特に問題になっているのが、空き家の問題です。かつての新興住宅地の中でも、空き家が出てきています。太子町でも、例えば磯長台、太子ヶ丘等の住宅地にも空き家が出てきてますし、もちろん旧村の中にもたくさんの空き家が出てきており、安全面も含めて、その対応に追われています。

若年層に対する対策としては、医療費の無償化、給食費の無償化等がありますが、南河内地域で言えば、人口対策としては、若い人を呼び込む人口対策として、3世帯近居をすれば補助金出しますというようなこともされている市町村もありますし、太子町も実施しています。

日本全国で言えば、人口減が進んでいますが、自治体単位で言えば、必ずしも人口が減ってる自治体だけではないというのが実態であります。例えば、葛城市や香芝市は今も微増ですし、北摂で言えば箕面市や豊中市のように人口を増やしている市もあります。土地の利便性、交通の利便性なのか、住みやすさがあるのか、人口が増えている自治体もあるという中で、本町はまだ、なかなか効果的な人口対策へは、至っていないというのが現実です。

教育委員会としては、教育部分で学校の教育環境が非常に良いというところを売りにしたいと思います。幼小中一貫教育等の施策を打って、他市

池田教育次長 町から引っ越す世帯が、太子町で教育を受けたいという思えるような環境を目指します。とはいえ、まだまだ少子化を食い止めるレベルではありませんが、視察もそうですし、太子町の教育を十分に宣伝しながら、その世代の呼び込みを図っていきたいというのが、我々事務局の思いでもあります。

中道教育長 本町に転居していただくための施策を首長部局もしっかり考えてくれていると思うので、こちらは教育の魅力を発信して、太子町で子育てしてもらえるように、また育った子どもたちが戻ってきてくれるような循環を作っていきたいと思います。

山崎委員 こういった大阪府教育庁主催のセミナーも、必ずインターネットで載りますよね。今、PRを発信する方法は色々ありますが、太子町で検索して、こういった情報が出てきたら、行こうかなと思われることもあると思いますので、こうやって発信していくということが一番近道ですね。

池田教育次長 手前みそですけど、いい学校、とてもいい子どもたちだと思うので、どんどん発信して、太子町で子育てしたいという思う人を増やしたいと思っています。今回、幼小中一貫教育をさせていただいて、注目も集めている状況なので、セミナーで報告させていただいたり、視察を受け入れたり、今後もこのような機会を前向きに受け入れたいと思っています。

中道教育長 セミナーで、大阪府教育委員会の中井職務代理者からお褒めの言葉もいただきました。そういう嬉しいこともあります。

池田委員 私の家が川のそばにありまして、中学校の生徒が川の環境を調べに来たりしているのを見て、個性的な取組みを練っておられていると思っていました。今お聞きしていると、こんなに様々な取組みをされているのだと感心して、ぜひ広めていけたら良いと思いました。

現場の教師をしておりましたが、少人数のいいところもあると思います。いつもだったら、1クラスが40人満杯のところ、たまに25人や23人の時があると、スポーツをしようと思ったら、人数が足りないので、隣のクラスも一緒にしたり、給食の準備を助け合ったりして、男の子も女の子も仲良かったことがありました。少人数のいいところもあるので、そういうところも皆さんに知っていただけたらいいのではないかという感想を持ちました。

中道教育長 他に何かご質問とかお気づきになった点はございませんか。

明石委員

能登半島地震がありました。特に教育現場、学校が避難場所になっていますね。しかし、学校を避難場所にした場合、冬であれば、使える暖房器具はあるのでしょうか。暖房もストーブも電気が止まってしまえば、動かないですし、停電でも対応できる暖房器具も備えがないと思います。太子町で地震が起こった時にどう動くかということは、学校の避難場所や太子町の備えについて、もう1歩踏み込んで考えていかないといけないと思いました。

中道教育長

被災地である輪島市の職員は自分の家を失っている方がたくさんいる中で、市民のために仕事をしないといけないということで、市役所で寝泊まりしながら、避難している人たちの対応に当たるという状況の中で仕事していると聞きました。当事者になると、本当にもっと大変な状況があります。学校も避難所になれば、誰かが寝泊まりしながら対応しないといけない。先行して、避難所の設備や備蓄品をどうするのかということについて、議論が必要になってきます。

山崎委員

府立学校については、大阪北部地震の後から、かなり備蓄が進みました。学校に教員と生徒の3日分の水、アルファ化米、それから簡易トイレ等を置くようになりました。避難場所に指定されている場合は、学校の鍵を地域で持ってもらっていたと思います。太子町は、小中学校、役場に備蓄はあるのですか。

池田教育次長

役場がまず備蓄拠点になっていて、食料を中心に置いてます。磯長小学校、山田小学校の体育館が大規模災害時の指定避難所になっていますので、それぞれ備蓄倉庫を持っています。備蓄の内容について、配分を整えている状態です。小さい町なので、各集会所にそれぞれ備蓄物資を分散しておくことはせず、何かあれば役場から送るような対応を想定しています。ただ、役場が全てしないといけない、というフェーズはなくなっています。災害が起これば、輪島市の話にもありましたが、職員も被災者でありますし、役場にやってほしいと言っても、できる範囲も限られてるので、それぞれができることやっていく必要があると思います。例えば、自主防災組織というのを各町会で置いてもらって、その初期の基本的な防災対応はそこでしてもらったり、避難所も今までは、何かあったら役場の職員が鍵を持って開けに行くという形でしたが、地域の町会長さんに避難所の鍵を持ってもらって、避難所を空けて誰が来たかをチェックしてもらうことを地域でやってもらったりするような動きにもなっています。日本は、数多くの大規模地震を経験してきたので、その辺の考え方について、かつてに比べればかなり進んできたと思います。職員が避難者となれば、住民への支援が及ばない状況が起こってしまうので、今は、関西広域連合でパートナーを決めて、大阪は輪島に入る、奈良県は、七尾に入るという

池田教育次長      ようなことを決めながら、職員が休めるように、支援の職員を送り出すと  
いうようなことを全国的にするようにもなりましたし、神戸市や横浜市の  
大きな政令市は、2日には現地と連絡を取って現地の支援に入ったり、消  
防は広域体制を組んで、1日の晩には大阪も50隊以上の消防隊が現地に  
入ったり、といったことも、ようやくできるようになったので、システム  
としてはかなり整備が進められたと思っています。

明石委員      想定されている南海トラフは、規模がすごく大きいので、それに対応で  
きる備えというのは今まで想定しているよりもっと必要かもしれません。

池田教育次長      都道府県や市町村の初動の対応が非常に大切だということを実感しま  
した。

池田委員      今、受験シーズンに地震が起こったので、子どもたちの教育の継続のた  
めに学校で集団避難というのはすごく大変だと思いました。

中道教育長      集団避難所に先生も行って、合宿生活を続けるというようなことはいま  
でなかったと思います。そういった備えについても日頃から考えておく必  
要があると思います。みなさん色々ご意見いただきましてありがとうございました。

中道教育長      それでは本日の日程はすべて終了いたしました。なお、次回定例会は2  
月16日金曜日午前9時から、生涯学習センター3階の研修室で開催いた  
します。定例会が終わりましたら、休憩を挟んで、総合教育会議を開催い  
たしますので、よろしく願いいたします。

## 会議録の署名

教育長 \_\_\_\_\_ (印)

委員 \_\_\_\_\_ (印)